

# 東京ガス通信

2012秋冬号

株主の皆さまへ

2013年3月期 第2四半期  
(2012年4月1日～2012年9月30日)



- P.1 連結決算ハイライト
- P.2 株主の皆さまへ
- P.5 特集  
天然ガスでエコな電力を  
電力安定供給への貢献をめざす東京ガス
- P.9 東京ガスニュース
- P.10 ガスで味わう旬の食卓
- P.11 連結決算のご報告
- P.13 アンケートのお願い
- P.14 会社情報

# 連結決算ハイライト

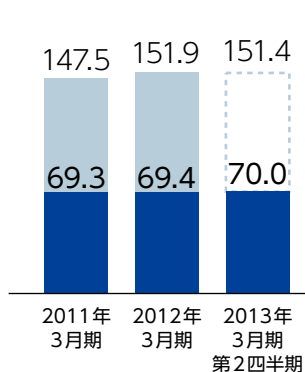
## 2013年3月期 第2四半期 (2012年4月～9月) 業績のポイント

- ・ ガス販売量は、新規需要の増加および震災後の落ち込みからの回復等により、前年同期比0.8%増となりました。売上高は、電力販売の増加があり前年同期比15.4%増の8,637億円となりました。
- ・ 原油価格上昇の影響で営業費用が増加しましたが、営業利益は前年同期比633億円増の650億円となりました。また、四半期純利益は399億円となりました。

業績に関する詳しいご説明は、P.11をご覧ください。

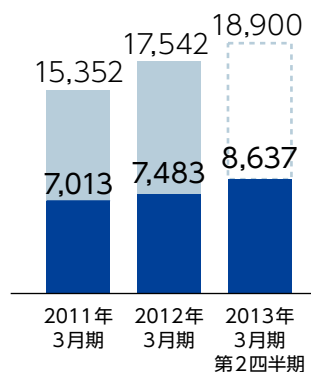
### ガス販売量

(億m<sup>3</sup>)



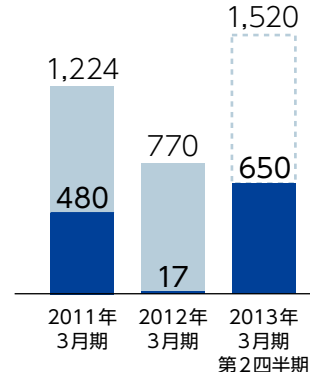
### 売上高

(億円)



### 営業利益

(億円)



■ 第2四半期 ■ 通期 (2013年3月期は見通し)

## 2013年3月期 通期業績の見通し

- ・ ガス販売量はほぼ前年並みに留まるものの、電力事業が順調に推移すると見込まれることから、売上高は前期比7.7%増の1兆8,900億円となる見通しです。
- ・ 営業利益、当期純利益ともに前期を大幅に上回り、増収増益を達成できる見通しです。

## 株主の皆さまへ

「チャレンジ2020ビジョン」発表から  
1年が経過しました。  
東京ガスグループは今後も  
「LNGバリューチェーンの高度化」を  
中核に据えた経営施策を着実に  
推進していきます。

代表取締役社長 岡本 毅

### ■ 2013年3月期上期のご報告

東日本大震災以降、節約・節電志向を背景に落ち込んだ家庭用・業務用のガス販売量が回復したことに加え、鹿島臨海工業地帯の新たな需要開発等により、当上期のガス販売量は前年同期比0.8%の増加となりました。原油高の影響によるガス原材料費の増加や、電力販売の増加に伴う燃料費の増加等がありましたが、ガス事業の増収に加え、原料費調整制度に伴う収支の改善等により、また電力事業が大きく増収増益を果たしたことから、営業利益は前年同期比633億円の増加となりました。



## ■ チャレンジ2020ビジョンの発表から1年

2011年11月、当社グループは2020年にありたい姿を描いた「エネルギーと未来のために東京ガスグループがめざすこと。～チャレンジ2020ビジョン～」(以下「ビジョン」)をとりまとめ、エネルギー供給の一翼を担う企業としての責任を果たすべく各種施策を着実に遂行してきました。

### 調達源の多様化と海外事業の拡大が着実に前進

原料価格の低減と供給安定性の確保を目的として、調達源の多様化を進めました。2012年4月には米国コーブポイントLNGプロジェクトの事業主との間で天然ガス液化加工契約の最終合意に向けた協議を開始し、米国産非在来型天然ガス由来のLNG調達に向けた一歩を踏み出しました。6月には、当社が5%の権益を保有する豪州プルートLNGプロジェクトで生産された液化天然ガスの受け入れを開始しました。

### 天然ガスの普及・拡大に向けたインフラ整備を推進

2012年3月に「千葉～鹿島ライン」が開通、5月には同ラインを延伸した「鹿島臨海ライン」の建設が完了し、鹿島臨海工業地域および東京電力(株)鹿島火力発電所敷地内の新設ガスタービン発電施設向けに供給を開始しました。7月には当社第4のLNG受け入れ基地である日立LNG基地の建設工事に着手しました。2015年度の稼働後は、すでに栃木県側から着工している「茨城～栃木幹線」との接続により、関東全域のエネルギーセキュリティの向上と、大きな潜在需要が期待される北関東への供給力の飛躍的な拡大が実現するものと期待しています。

### 扇島パワーステーション3号機の建設を決定

ビジョンで掲げている電力事業拡大の具体策として、これまで検討を進めてきた扇島パワーステーション3号機に関し、2015年度の運転開始を目指し建設を決定しました。3号機の運転が開始されれば、扇島パワーステーションの発電規模は現状の81万kWから122万kWに拡大し、安定的な電力供給に寄与します。

## ■ 2013年3月期の業績予想と株主還元

2013年3月期のガス販売量は前期とほぼ同水準となる見通しです。営業利益は、ガス事業における原材料費増加や料金改定の影響があるものの、原料費調整制度に伴う収支の改善(563億円)、電力事業の増益等により前期比97.2%の増益を予想しています。

株主の皆さまへの還元につきましては、中間配当を前年同期と同様の1株当たり4円50銭とさせていただきます。配当と消却を前提とした自社株取得を合わせた総分配性向6割程度という基本方針につきましても、引き続き堅持していきます。

ガス事業、電力事業をはじめ今期決算で利益を計上した源泉は、過去の投資等が結実したものです。今後につきましても、当社が長期的に成長するために投資を拡大し、将来の利益成長につなげる所存です。株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



2012年11月

岡本毅



# 天然ガスでエコな電力を 電力安定供給への貢献をめざす東京ガス

東京ガスグループでは、天然ガスをコアとして、自社グループによる火力発電事業、コージェネレーション、分散型エネルギーシステムなどの電力事業を展開しています。この特集では、電力安定供給の維持・継続に向けて、電力事業の一層の拡大を推進する東京ガスグループの姿をご紹介します。

## 環境負荷が少なく高効率な天然ガス火力発電

2003年、東京ガスグループとして最初の発電事業会社である東京ガスベイパワーが、高効率のガスタービンコンバインドサイクル発電所の営業運転を開始し、電力事業をスタートさせました。その後、IPPである東京ガス横須賀パワー（24万kW）、JX日鉱日石エネルギー（株）と合併の川崎天然ガス発電（84万kW）、昭和シェル石油（株）との合併である扇島パワー（81万kW）が順次運転を開始し、2012年3月末時点では原発電約2基分に相当する約200万kWの発電能力を有しています。いずれの発電所も天然ガスを燃料とし、高効率で省エネルギー性に優れた「ガス

タービンコンバインドサイクル」を採用しています。

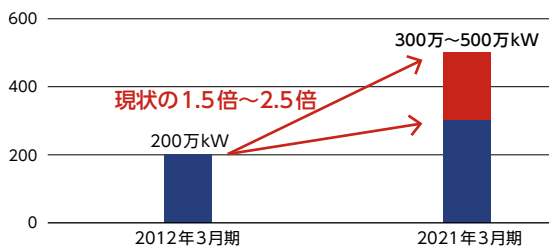
2011年11月に発表した「チャレンジ2020ビジョン」では、当社グループの発電事業を現在の

### 「ガスタービンコンバインドサイクル」とは

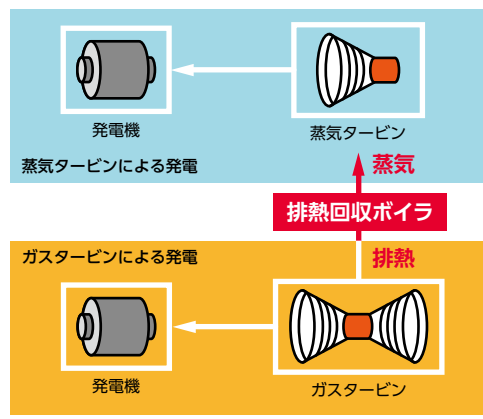
都市ガスなどの燃料を使ってタービンを回転させることによって発電する「シンプルサイクル」に対し、「コンバインドサイクル」は発電時に発生する熱を排熱回収ボイラで回収し、蒸気タービンによる発電も行う発電方式です。総合発電効率はシンプルサイクルの約1.5倍にも上る省エネ・環境性に優れた発電システムです。

発電事業規模計画（他社持分含む）

(万kW)



### コンバインドサイクルによる発電



200万kWから、2020年までに300～500万kWに拡大する方針を掲げました。首都圏の需要地に近いという立地面と、当社LNG基地と隣

接していることによるオペレーション面での優位性を活かし、首都圏の電力需要に応えるべく事業を推進していきます。

### 東京ガスの電力事業



川崎天然ガス発電

発電能力  
42万kW×2基 84万kW



東京ガスベイパワー

発電能力  
10万kW×1基 10万kW



扇島パワー

発電能力  
40.7万kW×2基 81万kW



東京ガス横須賀パワー

発電能力  
24万kW×1基 24万kW

### 扇島パワーステーション3号機の建設を決定

扇島パワーステーションは、2010年3月に1号機、同7月に2号機の運転を開始し、現在では約81万4千kWの発電能力を有しています。これまで検討を進めてきた3号機についても本年10月、建設を決定しました。11月に着手し、2015年度中

の運転開始を目指します。扇島パワーステーションの発電能力は、約40万7千kWの発電能力を予定する3号機の稼働により122万1千kWに拡大します。安定的かつ効率的な電力供給により電力需給逼迫の緩和に貢献していきます。

## 鹿島臨海工業地帯の発電所への都市ガス供給

2012年3月に開通した千葉～鹿島ライン、同5月に竣工した鹿島臨海ラインにより、千葉県北東部地域および鹿島臨海工業地帯がパイプラインで結ばれ、工業用のお客さまを中心に天然ガスの供給が拡大しています。

2012年6月には、鹿島臨海ラインを通じて、東京電力(株)鹿島火力発電所への都市ガスの供給を開始しました。現在、シンプルサイクルのガスタービン3基(合計約80万kW)に対してガス供給を行っていますが、2014年7月にはコンバインドサイクル化する計画が発表されています。これにより発電所の稼働が高まることが想定され、当社によるガス販売量も飛躍的に増加するこ

とが見込まれます。同発電所への天然ガス供給を通じて、電力の安定供給に貢献していきます。



## 分散型エネルギーシステム(コージェネレーション・エネファーム)の普及に向けて

ガスを利用したコージェネレーションシステムや家庭用燃料電池は、エネルギーセキュリティの向上や電力ピークカットを実現する分散型エネルギーシステムとして注目されています。当社は「ビジョン」において、コージェネレーションシステムを2011年の150万kWから2020年には400万kWへ、「エネファーム」を31倍となる30万台

に拡大する計画を掲げ、普及に向けた取り組みを進めています。

「ガスコージェネレーションシステム」は、ガスを燃料としてガスエンジンやガスタービンにより発電し、発電の際の排熱も給湯や空調、蒸気として無駄なく活用する分散型エネルギーシステムです。電力供給ひっ迫に伴う電力供給不安の高





まりに加え、原子力発電の稼働低下に伴う電気料金の値上げなどによってコスト面でのメリットが改善していることにより、導入されるお客さまが増加しています。2012年9月に公表された政府の「革新的エネルギー・環境戦略」では、ガスを含むコージェネレーションを2030年に電力量で現在の約5倍にまで拡大させる計画が進められています。

当社は、2009年5月に世界で初めて一般住宅用の家庭用燃料電池として「エネファーム」を発売し、2011年4月には大幅なコストダウンに加え、性能を大きく向上させた新商品を発売しました。大規模集中発電所と比較してCO<sub>2</sub>排出量・エネルギー消費量を大幅に削減\*でき、また年間の光熱費も約5～6万円節約できるなど環境負荷低減と省エネを実現するシステムです。当社は計画の実現に向けて価格の低廉化と性能の一層の向上を、スピード感を持って進めていきます。

\* 火力発電所からの電気と都市ガス給湯暖房機からの給湯・暖房を行う方式と比べ、定格発電時にCO<sub>2</sub>排出量を約48%削減、一次エネルギー消費量を約35%削減



コージェネレーションシステム



エネファーム

#### 「分散型エネルギーシステム」とは

大規模発電所とは異なり、需要地で発電するシステムです。発電時に発生する熱や蒸気を活用できるため、総合エネルギー効率\*は70～85%に達します。\*一般的な火力発電所のエネルギー効率は40%程度

## NEWS 1 コーブポイントLNGプロジェクトからの米国産LNG調達に向けた協議を開始

当社は2012年4月、米国コーブポイントLNGプロジェクトからのLNG調達に向け、事業主との協議を開始しました。同プロジェクトは2017年の運転開始によるLNGの輸出をめざしています。当社が住友商事(株)と進める当該協議が合意に達した場合には、シェールガスを含む米国産非在来型天然ガス由来のLNGの調達が可能となり、調達先の多様化がさらに前進することになります。



## NEWS 2 プルートLNGプロジェクトからのLNG受け入れを開始



2012年6月、当社は本年4月に生産を開始した西オーストラリアのプルートLNGプロジェクトからLNGを初めて受け入れました。5%の権益を有する同プロジェクトからの受け入れは、権益を取得したプロジェクトとしては、ダーウィンLNGプロジェクトに次いで2例目となります。これにより当社は現時点で6カ国11プロジェクトからLNGを調達しています。今後も、調達先のさらなる多様化に積極的に取り組んでまいります。

## NEWS 3 北海道ガス(株)への外航船によるLNG供給を開始

2012年10月、北海道ガス(株)の石狩LNG基地に、当社が契約するLNGプロジェクトからの外航船が入港し、当社から北海道ガス(株)へのLNG供給が開始されました。

石狩LNG基地は道内初のLNG輸入基地で、天然ガス供給の重要なインフラとして期待されています。当社は2010年12月、北海道ガス(株)にLNGを供給する契約を締結しました。これは、当社が契約するLNGプロジェクトから外航船を使って国内ガス事業者向けに長期的にLNGを供給する最初の事例となります。



# ガスで味わう旬の食卓

## きのこのグリル

大勢で食卓を囲む機会の多いこの季節。  
パーティーで喜ばれるメニューをご紹介します。

調理時間：15分

栄養価(1人分)：63kcal 脂質5.0g 塩分0.3g



### 材料(6人分)

- キノコ  
(エリンギ、マイタケ、シイタケ、ナメコなど)  
合わせて約400g
- ニンニク 1片
- パセリ 適量
- オリーブ油 大さじ2
- 塩 小さじ1/4
- コショウ(黒) 適量
- パン粉 大さじ2
- 粉チーズ 大さじ2

### 作り方

- キノコは食べやすい大きさに切ります。  
ニンニク、パセリはみじん切りにします。
- フライパンにオリーブ油大さじ1とニンニクを入れて火にかけ、  
香りがでたらキノコを加えて炒め、塩、コショウをします。
- 直火用耐熱容器に②を入れて全体にパン粉をふり、  
残りのオリーブ油をかけます。粉チーズを散らして焼きます。

両面焼きグリル 上・下 約3分

- 焼き上がったらパセリをふります。

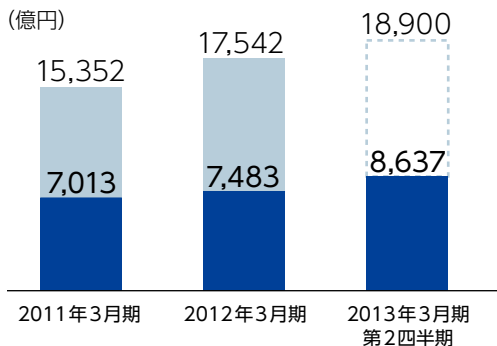
### エコ・クッキング\*のポイント

- 旬のきのこをたっぷり使う。
- 両面焼きグリルを使い、短時間でアツアツこんがり焼きあげる。

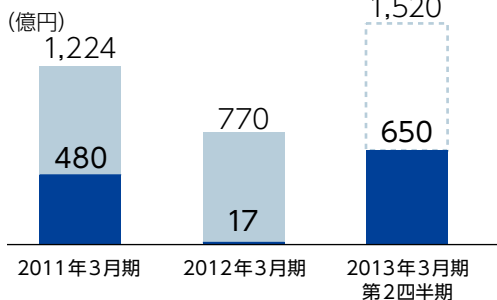
\*エコ・クッキングは東京ガス(株)の登録商標です。  
エコ・クッキングとは環境に配慮した食生活全般を意味します。

# 連結決算のご報告

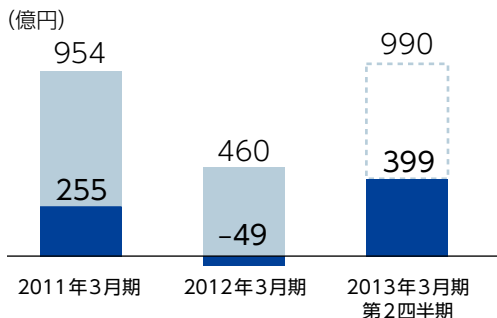
## 売上高



## 営業利益



## 当期純利益 (純損失)



■ 第2四半期 ■ 通期 (2013年3月期は見直し)

## 当第2四半期 (2012年4月～9月) の業績の背景

### 事業環境について

- ・震災以降、厳しい経済状況にありましたが、復興需要もあり緩やかな回復が見られました。
- ・エネルギーのあり方が見直される中、発電用を含めた天然ガスへの期待が高まりました。
- ・天然ガスの価格決定に影響する原油価格は、世界的なエネルギー需要の高まりによって上昇しました。

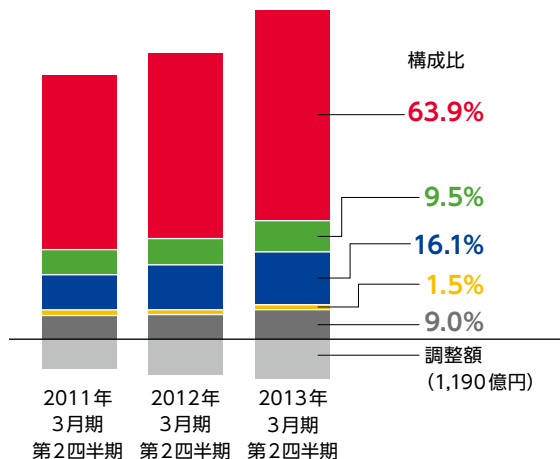
### 売上について

- ・ガス販売量は、連結子会社の電力事業向けガス販売の商流一部見直しによる減少があったものの、千葉～鹿島ライン開通に伴う新規需要や発電用需要の増加および震災後の落ち込みからの回復等により、前年同期比0.8%の増加となりました。
- ・都市ガス売上高は、原料費調整による売上単価増等により、前年同期比13.3%増の6,283億円となりました。
- ・電力販売の増加など、その他エネルギー売上高が増加したこともあり、増収となりました。

### 利益について

- ・原油価格上昇の影響でガス原材料費が増加したこと等により営業費用が増加しましたが、増収効果もあり営業利益は650億円となりました。また、四半期純利益は399億円となりました。

## セグメント別外部売上高



### ● 都市ガス 6,283億円

1,090万件のお客さまに都市ガスを販売しています。売上高は前期比13.3%増加しました。ガス販売量の状況は右図のとおりです。

### ● 器具及びガス工事 933億円

ガス器具の販売や、お客さまの敷地内のガス工事を行っています。売上高は前期比20.3%増加しました。

### ● その他エネルギー 1,578億円

エネルギーサービスや、電力・LPGの販売を行っています。売上高は前期比17.6%増加しました。

### ● 不動産 150億円

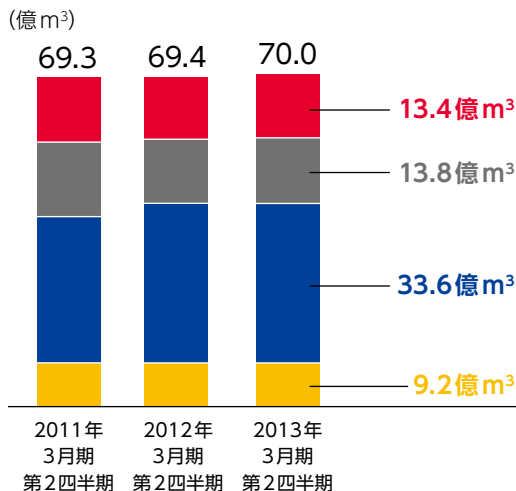
新宿パークタワーをはじめとする、商業・オフィス施設の賃貸・管理等を行っています。売上高は前期比1.8%増加しました。

### ● その他 880億円

建設、情報処理サービス、船舶、海外投資、クレジット・リースなどの事業を行っています。売上高は前期比20.0%増加しました。

## 用途別ガス販売量の実績

当第2四半期は、震災後の落ち込みからの回復に加え、千葉～鹿島ライン開通による需要増もあり、前期比0.8%増の70.0億m<sup>3</sup>となりました。



### ■ 家庭用 1.5%増

震災後の落ち込みが緩やかに回復したことに加え、お客さま件数の伸びもあり、販売量が増加しました。

### ■ 業務用 2.6%増

震災後の落ち込みからの回復により既存設備の稼働が増加したことから、販売量が増加しました。

### ■ 工業用 微増

千葉～鹿島ライン開通に伴う新規・発電用需要の増加が、連結子会社の電力事業向けガス販売の商流一部見直しに伴う減少をカバーした形となりました。

### ■ 他事業者向け供給 0.3%増

供給先事業者の需要増等により増加しました。



# アンケートのお願い～皆さまの声をお寄せください

当社では、「東京ガス通信」の紙面はもとより、今後のIR活動をさらに質の高いものに改善していくため、株主の皆さまからの声を参考にさせていただきたいと考えております。当社ウェブサイトの株主・投資家向けページに、アンケートを設置いたしました。この機会にウェブサイトをご訪問いただき、アンケートにご回答いただければ幸いです。(2012年12月28日締め切り)

## 📁 アクセス方法

1. インターネットの検索エンジン (Yahoo!, Google) で「東京ガス株主アンケート」と入力し、検索

東京ガス株主アンケート

検索



2. 東京ガスの株主・投資家向けサイトにアクセス



3. ここをクリックするとアンケート画面にジャンプします

\* 直接上記サイトにアクセスしていただいてもご回答いただけます。

[http://www.tokyo-gas.co.jp/IR/ir\\_j.html](http://www.tokyo-gas.co.jp/IR/ir_j.html)

## 📄 アンケート項目 (抜粋)

### 質問1 東京ガス通信 (2012秋冬号) について

- ① 今回の東京ガス通信についてどのように評価されますか。
- ② 東京ガス通信で興味深かった内容は何ですか。
- ③ 東京ガス通信の情報量について、どのように思われますか。
- ④ 今後、東京ガス通信に掲載を希望される内容は何ですか。

### 質問2 東京ガスのIR (株主様向け広報) 活動について

- ① 当社のIRをどのように評価されますか。
- ② ①のように評価される理由は何ですか。
- ③ 当社のIRに何を期待されますか。

### 質問3 当社株式について

- ① 当社株式を保有されたきっかけは何ですか。
- ② 当社の株式・企業情報をどのような方法で入手されていますか。

### 質問4 株主様ご自身について

- ① 性別
- ② 年齢層
- ③ お住まいの地域
- ④ ご使用のガス事業会社
- ⑤ ご職業

# 会社情報 (2012年9月30日現在)

## 会社概要

会社名	東京ガス株式会社
本社所在地	〒105-8527 東京都港区海岸1-5-20
創立	1885 (明治18) 年10月1日
従業員数	7,954人 (連結16,800人) 注: 従業員数は常勤の就業数を記載しており、出向者および臨時従業員を含みません。
格付け	AA+ (R&I: 格付投資情報センター) Aa3 (ムーディーズ) AA- (スタンダード&プアーズ) AAA (JCR: 日本格付研究所)
連結子会社	66社
持分法適用関連会社	5社

## 取締役および監査役

取締役会長 鳥原 光憲	取締役 (常務執行役員) 大谷 勉	社外取締役 佐藤 行雄 富澤 龍一 中垣 喜彦	常勤監査役 森 邦弘 福本 学
代表取締役社長 (社長執行役員) 岡本 毅	取締役 板沢 幹雄 吉野 和雄 幡場 松彦	社外監査役 増田 幸央 大澤 正之 森田 嘉彦	
代表取締役 (副社長執行役員) 村木 茂 広瀬 道明			

## 執行役員

常務執行役員 青沼 光一 救仁郷 豊 三神 正博 尾花 秀章	執行役員 小林 裕明 内田 高史 安岡 省	執行役員 久保田 宏明 高橋 秀文 田邊 義博 村関 不三夫 荒井 英昭	執行役員 高松 勝 高橋 道晴 原文比古 傳 清忠 齊藤 隆弘
--	--------------------------------	---	--

## 株式の状況

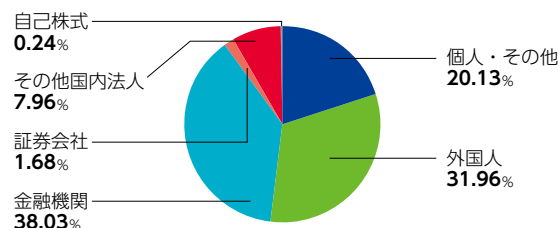
資本金	141,844,398,888円
発行可能株式総数	6,500,000,000株
発行済株式の総数	2,577,919,295株
株主数	135,894名

## 大株主

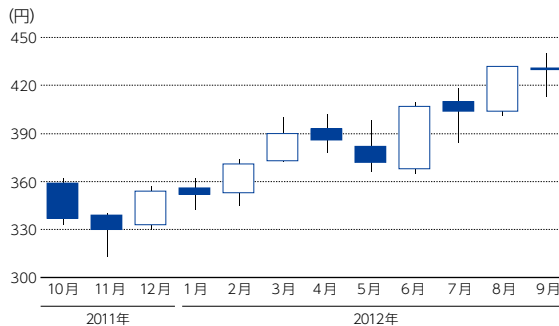
株主名	持株比率 (%)	持株数 (千株)
日本生命保険相互会社	6.34	163,000
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	4.96	127,653
第一生命保険株式会社	4.68	120,472
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3.92	100,690
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS	2.26	58,135
東京瓦斯グループ従業員持株会	1.84	47,338
富国生命保険相互会社	1.60	41,103
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	1.41	36,368
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託第一生命保険口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	1.38	35,490
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505225	1.20	30,981

注: 持株比率は自己株式 (6,058,342株) を控除して計算しております。

## 所有者別株式分布状況



## 株価の推移 (東京証券取引所)



## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会・期末配当：毎年3月31日  
中間配当：毎年9月30日

証券コード 9531

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

三井住友信託銀行株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

郵便物送付先

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

### 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際に同封している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行われる際には、添付資料としてご利用いただけますので大切に保管してください。ただし、株式数比例配分方式で配当をお受け取りの株主さまにつきましては、源泉徴収税額の計算が証券会社等で行われるため、確定申告時の添付資料に関するお問い合わせは、お取引の証券会社にお願いいたします。

## 株式に関するお問い合わせ先

株式に関する各種手続は、お取引の証券会社でのお取扱いとなります。

なお、保有株式が特別口座で管理されている場合は、特別口座管理機関の三井住友信託銀行株式会社でのお取扱いとなります。[TEL 0120-782-031 (受付時間：平日9:00-17:00)]

## 東京ガス株式会社

東京ガス通信に関するお問い合わせ

**TEL 03-5400-3888**

財務部IRグループ

株式その他のお問い合わせ

**TEL 03-5400-3894**

総務部総務グループ

### 今号の表紙について



#### 東京ガスのガス温水式床暖房

温水式床暖房は、外部の熱源でつくられた温水を配管により床材の下に導いて床材を温める暖房方式です。足元から部屋全体をむらなく暖めることができ、また電気式の床暖房に比べてCO<sub>2</sub>排出量を80% (年間利用換算) も削減することができる、地球にも家族にも優しい暖房です。



この冊子は、社内の使用済み文書、管理された植林材および再・未利用材を原料とした「東京ガス循環再生紙」と、有機溶剤の少ない植物油インキを使用して印刷しています。